

【教育目標:創造 温情 実践 健康】

教育理念

将来、持続可能な社会の創り手へと成長する生徒の土台を形成する。その土台とは、夢や志をもち自分で考動する力、多様性を理解する力、学び続ける力、たくましさ・しなやかさを保せもつ心身である。

行動指針

一 全教職員が挨拶・会話・協働を心掛け、居心地と風通しが良く、幸福で働き甲斐のある職場風土の醸成に努める。

一 全教職員が自分事として本校の課題を捉え、ベクトルを合わせて経営計画の具現・ビジョンの達成に挑む。  
一 全教職員が生徒・保護者に寄り添い、生徒の可能性を引き出し伸ばす教育を実践する。

ビジョン

目指す生徒の姿  
夢や志をもち、教養と品格を備え自分で考動し未来を切り拓く生徒

目指す教師の姿  
教育公務員としての使命を自覚し熱意と向上心に溢れ、教育のプロとして主体性を発揮する教師

目指す学校の姿  
保護者・地域から信頼され、誰もが通いたい、通わせたいと思う学校

【生徒:引き出し、育成・定着を目指す資質・能力】

- 読み解く力、書く力、聞く力、計算する力、表現する力、体力等の認知能力
- 好奇心をもち主体的に考動する力、対話・協働する力、諦めず学び続ける力、自己肯定感、自己有用感等の非認知能力
- 自他の命・人権を尊重する態度、国や地域を愛する心、多様性を理解する力

【教職員:修練し、改善・向上を目指す資質・能力】

- 生徒に伴走し、生徒の心身を鍛え、可能性を引き出し伸ばすことができる、愛情・意欲・情熱ある教師力
- 「教え考えさせる」授業を習得し、教科好き・学び続ける生徒を育成できる指導力・授業力
- 多様性を備え、他者と対話・協働して組織的な考動をとり、成果を出すことができる力

スロガン 考動しよう！

取組項目・方策

◆魅力ある学校の創造 \*最重要

- 1) 学校風土・教職員組織文化の向上
  - ・「学び合い、教え合い」研修等による教師力の向上⇒生徒が「教師支援」「保護的規律」を認識⇒学級環境の改善⇒生徒の「学校とのつながり」の意識を醸成
- 2) 明るさ・やりがい・風通しよい職場環境
  - ・行動指針の遵守、職責の自覚と遂行
- 3) 働き方改革
  - ・能率 up、時間外勤務縮減、年休取得増
- 4) 開かれた学校
  - ・HPの充実、CSの推進、地域との連携

◆生徒指導 \*最重要

- 1) 生徒のよさや可能性の伸長、「自己指導能力」の獲得を支援、自己実現を促す
  - ・発達支持的生徒指導、信頼して任せる指導⇒自己決定の場を提供し、自己存在感、自己肯定感、自己有用感等を育む
  - ・ASSESS等の結果に基づく深い生徒理解を通じた、認め合い、励まし合い、支え合える学習集団、学級・学年づくり
- 2) キャリア教育(進路指導を包含)、教育相談の充実
  - ・生徒指導と一体、一貫した取組の充実

◆人材育成・能力開発

- 1) 「学校力」「教師力」の育成・強化
  - ・外部連携や折衝を積極的に任す指導
  - ・副校長、主幹教諭を主とした OJT 推進
  - ・教員同士が「学び合い」風土の醸成
- 2) 校内研・研修受講・自己研鑽の奨励
  - ・CS委員の参加等校内研究の活性化
  - ・指導教諭の授業・校外研修参観の奨励
  - ・外部講師・地域人材等の招聘と活用

◆学力向上・認知能力の育成

- 1) 授業改善
  - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、①OKJ(習得型授業)=生徒が「分かる、充実感を味わう」授業、②クロムブックを活用した、個⇒集団⇒個となる思考、意見交流、自由な表現活動のある授業の実践(①: 日常化 ②: 単元に最低1回以上)
  - ・校内授業研究の計画的推進
  - ・板書による「目標」提示と「振り返り」の徹底
  - ・年間・単元指導計画、評価計画の精度向上
  - ・都、市の基準を踏まえた客観性・妥当性・信頼性のある評価の実施(指導と評価の一体)
  - ・各種調査、アンケート等の分析結果に基づく授業改善への取組推進
- 2) 基礎・基本の定着
  - ・安全・安心・清潔な環境整備、全校一律的な授業規律の徹底
  - ・編集手帳ノートを活用した朝学習の意図的・計画的、徹底した取組
  - ・朝読書、ビブリオフォーラム、小中連携したポップ作り、おうち図書館等の取組による読書好き生徒の育成
  - ・「総合的な学習の時間」を活用した調べる学習コンクールへの取組

◆命・人権・道徳教育の推進

- 1) 自他の命を守る教育
  - ・各種防災訓練、安全指導等の継続実施
  - ・体力、食育、保健・健康教育等の推進
  - ・校長講話、SOS の出し方教育、SNS 教育等
- 2) 人権教育、「特別の教科 道徳」
  - ・道徳授業地区公開講座の充実
  - ・道徳を核に全教育活動を通じた人権教育
  - ・推進担当教員を中心とした道徳指導の充実

◆特別支援教育・多様性の理解

- 1) 校内委員会の充実と生徒理解
  - ・校内委員会による情報共有と対策協議
  - ・サポート R、SC、巡回心理士等との連携
  - ・ASSESS 等を活用した生徒理解の充実
- 2) 不登校対応、居心地のよい環境作り
  - ・励ます声掛け、自己決定させる機会の創出、発達支持的生徒指導の実践
  - ・学級・学年、ステップタイムの環境整備
- 3) 関係機関との連携
  - ・子ども家庭支援センター、適応指導教室 民生児童委員、医療機関等との連携強化

◆特色ある教育【ESD の四中】

- ～持続可能な教育活動による生徒の育成～
- 1) 非認知能力の育成
    - ・「総合・特別活動」を核とした、SDGs 関連学習、地域貢献活動の推進
  - 2) 旅行・集団宿泊の行事への取組
    - ・「何を学ぶか、身に付ける力」から考える
    - ・3年間の系統性をもたせる
    - ・CSと共に考える(教員本位の改善)
  - 3) 小中連携教育の推進
    - ・四中学区の連携推進、子供食堂の継続
    - ・9年間を見通した児童・生徒の育成

◆特別活動

- 1) 学級活動の充実
  - ・認め合い、話し合い、自由な表現、協働等の推進、心地良く感じる環境の構築
- 2) 生徒会活動の充実
  - ・生徒会、各種委員会活動の活発化、異年齢生徒の協働、自己有用感の醸成
- 3) 学校行事、部活動の改革と充実
  - ・集団への所属感・連帯感の深化